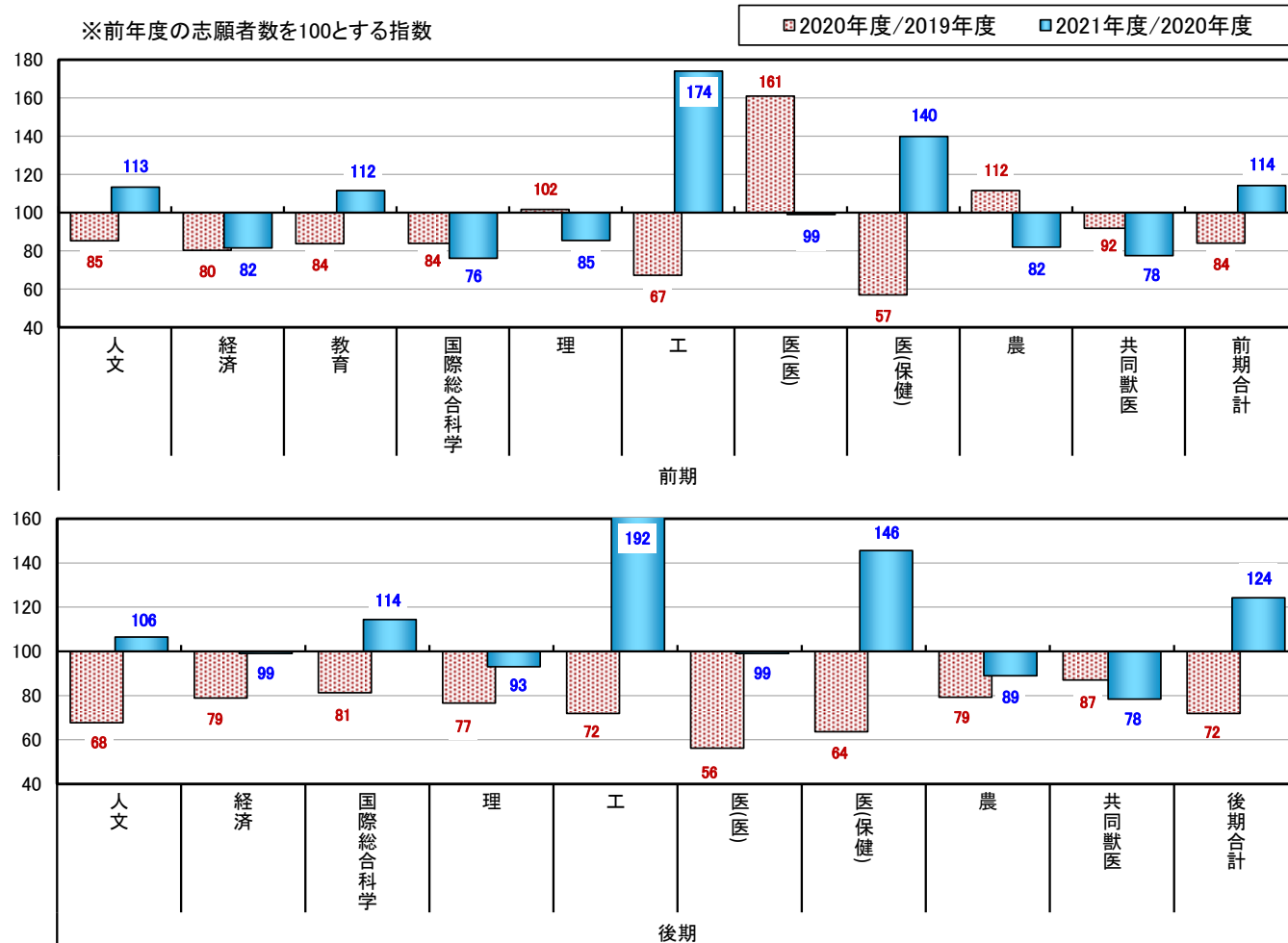


2021 年度入試状況分析【国公立大】

山口大：前期は増加、後期は大幅増加で反動による大幅増減が継続 前期：+438人 後期：+607人



入試変更点

学科改組：理(生物・化学)→理(化学)、理(生物)
 募集人員：工(機械工…<前>55人→54人
 (感性デザイン工)…<後>13人→14人
 農(生物資源環境科学)…<後>9人→7人
 共通テスト：教育(学校教育/教科教育-数学)…国+歴公+数2+理+外→国+歴公+数2+外+(理 or 理基2) ※理基：物基 or 化基 or 生基 or 地基
 (学校教育/教科教育-英語)…国+歴公+数+外+(理 or 理基2)→国+歴+数+外+(理 or 理基2)
 (学校教育/情報教育)…数2+理+外→国+数2+外+(理 or 理基2) ※理基：物基 or 化基 or 生基 or 地基
 工(機械工、電気電子工、感性デザイン工)<前><後>…数2+理+外→国+歴公+数2+理+外
 工(社会建設工、応用化学、知能情報工、循環環境工)<前><後>…数2+理+外→国+歴公+数2+理2+外
 医(医)<前><後>…国+歴公+数2+理2+外 ※理：化+(物 or 生)→国+歴公+数2+理2+外 ※理：物 or 化 or 生
 (保健/看護)<前>…国+歴公+数2+理2+外→国+歴公+数2+外+(理 or 理基2) ※理基：物基 or 化基 or 生基 or 地基
 (保健/看護)<後>…国+歴公+数2+理+外→国+歴公+数2+外+(理 or 理基2) ※理基：物基 or 化基 or 生基 or 地基
 (保健/検査技術)<前>…国+歴公+数2+理2+外 ※数：数I・A+(数II除く数②)→国+歴公+数2+理2+外 ※数：数I・A+数②
 (保健/検査技術)<後>…国+数2+理2+外 ※数：数I・A+(数II除く数②)→国+歴公+数2+理2+外 ※数：数I・A+数②
 農(生物機能科学)<後>…数2+理2+外→国+歴公+数2+理2+外
 共同獣医(獣医)<後>…数2+理2+外→国+数2+理2+外
 個別試験：教育(学校教育/家政)<前>…外→国 or 数 or 理 or 外

COMMENT ※ ()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は前年度大幅減少の反動で、438人(114)の増加。後期は前年度大幅減少の反動で607人(124)の大幅増加、2018年度以降前年度の反動による大幅な増減が継続。なお、志願者数は2年ぶりに3,000人を上回った。

<前期日程>
 ○人文(113)は、2年連続大幅減少の反動で増加。志願者数は2年ぶりに300人を上回った。
 ○経済(82)は、2年連続大幅減少。志願倍率も2.4倍→1.9倍とダウンし、募集人員が221人だった2012年度以来の2倍を下回った。
 ○教育(112)は、2年連続減少の反動から増加。コース・選修別では、17コース・選修中9コース・選修が増加。特に、(学校教育/教科教育-音楽)(244)、(学校教育/教科教育-国語)(210)はいずれも倍増以上の激増。一方で、7コース・選修が減少。特に、(学校教育/教科教育-家政)(34)は3分の1の激減。なお、(学校教育/教科教育-社会科)(100)は前年度と同数。
 ○国際総合科学(76)は、系統への人気低下もあって、3年連続大幅減少。志願者数は周知が行き届かなかった開設初年度の2015年度に次ぐ少数だった。

2021 年度入試状況分析【国公立大】

- 理(85)は、2年連続増加の反動で大幅減少。学科別では、(化学)、(生物)は前年度(生物・化学)から2学科に改組したが、2学科合計では(125)の大幅増加、(数理科学)(107)は前年度大幅減少の反動は小さく、やや増加に留まった。一方で、(地球圏システム科学)(44)、(物理・情報科学)(56)はいずれも前年度増加の反動で大幅減少。
- 工(174)は、前年度大幅減少の反動と共通テストの平均点アップによる共通テスト重視配点の影響も加わり1.7倍以上の激増。学科別では、7学科すべてが増加で、(循環環境工)(492)は5倍近い激増、(応用化学)(228)は倍増以上の激増、(電気電子工)(193)も倍増近い激増、(感性デザイン工)(125)は大幅増加。
- 医(医)(99)は、近隣の香川大・医<前>、愛媛大・医<前>の後期廃止に伴う募集人員増増加があったため、前年度大幅増加の反動は小さく微減に留まった。
- 医(保健)(140)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。専攻別では、2専攻とも大幅増加。
- 農(82)は、2016年度以降前年度の反動による増減が継続して大幅減少。学科別では、2学科とも大幅減少。
- 共同獣医(78)は、系統への低い人気もあって、大幅減少で3年連続減少。志願倍率も4.2倍→3.3倍にダウンし、2016年度以来の4倍を下回った。

<後期日程>

- 人文(106)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。
- 経済(99)は、微減だが2年連続減少。
- 国際総合科学(114)は、前年度大幅減少の反動で増加。
- 理(93)は、やや減少で3年連続減少。学科別では、(地球圏システム科学)(162)は1.6倍以上の激増、(化学)、(生物)は前年度(生物・化学)から2学科に改組したが、2学科合計では(生物・化学)が2年連続大幅減少だった反動から(122)の大幅増加。一方で、(物理・情報科学)(66)は大幅減少で3年連続減少、(数理科学)(85)は2年連続大幅減少。
- 工(192)は、前年度大幅減少の反動と共通テストの平均点アップによる共通テスト重視配点の影響も加わり、倍増近い激増。学科別では、全ての学科で大幅増加し、特に(電気電子工)(331)は3倍以上、(社会建設)(279)、(循環環境工)(254)は2倍以上の激増。
- 医(医)(99)は、前年度大幅減少の反動なく、微減だが2年連続減少。香川大・医(医)と愛媛大・医(医)の後期廃止により中四国地区で唯一の後期募集を行う国公立大医学部医学科となり、データネット(駿台・ベネッセ主催共通テスト自己採点集計)時点では志望者は激増していたが、高い目標ラインや第1段階選抜通過ラインを見て敬遠された。
- 医(保健)(146)は、2年連続大幅減少の反動で大幅増加。専攻別では、2専攻のいずれも40%以上の大幅増加。
- 農(89)は、減少で3年連続減少。学科別では、(生物機能科学)(153)が2年連続大幅増加、(生物資源環境)(52)が2年連続大幅減少と対照的。
- 共同獣医(78)は、系統への低い人気をあり、大幅減少で2年連続減少。志願倍率は9.7倍で2014年度以来の10倍を下回った。